



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年5月会報

第356号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Henry J.Grindheim

主 題: " Let Us Walk in the Light—Together " 「共に、光の中を歩もう」
スローガン " Fellowship across the borders " 「国境なき友情」

アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

主 題: " Respect Y's Movement " 「ワイズ運動を尊重しよう」

西日本区理事(RD) 大野 勉 (神戸ポート)

主 題: 2022 年に向け「心身の健康づくりから、クラブの健康づくり」

" Healthy mind & healthy body make healthy club "

副 題: 「今あるクラブを充実させ、しょうらいのクラブへ

宝(財産)を伝承していこう！」

六甲部部長 杉本 隆人(神戸学園都市)

主 題: 「共感しあい、支えあおう」

Empathy each other, Root y's & YMCA

宝塚クラブ会長 武田 寿子

主 題: 「次世代への継承！」Continuity to the Next Generation

地域への奉仕、エネルギーを結集し西日本区大会を

成功させよう

今月のテーマ :LT (指導者訓練)

あなたの天を、あなたの指の業を、わたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの。そのあなたが御心に留めてくださるとは、人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう、あなたが顧みてくださるとは。

(詩編 8 編 4-5 節)

2018年5月例会

日 時 : 2018年5月9日(水)18:30

場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間

登録費 : 会員3,100円 会員外3,500円、

ドライバー 吉田 明 西川勝久

開会点鐘 武田寿子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 井上 聖

祈 禱 多胡葉子

会長・委員会報告

会 食

お話し

内藤徹男氏

「美しい関西学院キャンパスを探訪」

～ヴォーリスを継いだ

40 年間のトータルデザイン～

5月誕生日のお祝い

YMCA ニュース

閉会点鐘

武田寿子会長

2017/18 役 員	会 長	武田寿子	直前会長	若林成幸
	副会長	多胡葉子	書 記	若林成幸
事 業 委員長	会 計	吉田 明	堀江裕一	
	会計監査	加藤光信		
	連絡主事	谷川 尚		
	メネット連絡	福田素子		
特別事業 委員長	YMCA サービス・ユース	福田宏子		
	地域奉仕・環境	多胡葉子・EMC	若林成幸	
お誕生日 おめでとう!	交 流・ファン	石田由美子		
	広 報(ブリテン)	長尾 亘 (HP)	長尾 亘	
4 月 実 績	NGO 鯖尻佳子	じゃがいも	福田 肇	
	バザー	青柳美知子		
	市民クリスマス	若林成幸		
	例会出席者数	28 名		
	在籍会員数	23 名		
	出席率	82.0%		
	メイクアップ(内数)	1 名		
	メネット	1 名		
	コメント・孫メット名、ゲスト・ビジター	8 名		
	例会充足率	121%		
	BF ポイント	4 月	4,952 円	
	累 計		32,041 円	
	にこにこBOX	4 月	2,000 円	
	累 計		24,750 円	
	ファン (物品販売)		5,000 円	
	累 計		43,000 円	

会長のことば

5 月 19 日 31 回目の宝塚クラブのチャリティーバザーが開かれます。それぞれができる範囲で、協力し今準備を行っていますが、改めてクラブ創設以来よくぞ継続してきたものだとその粘り強さに感動すら覚えます。今多くの学校や教会でバザーが中止されています。一つはモノがあふれ、ネットで商品が安く手に入れられる時代の流れがあり、人々の関心をひかなくなり、また準備に時間や労力がかかるので、資金集めとして効率が悪いのも一つの原因だそうです。

わたしたちのバザーも西宮YMCAのリーダーたちの協力がなくては成立しません。高齢化のワイズメンクラブだけでは到底できない行事の一つですが、若者と一緒に協働する楽しさと、毎年待っていてくださる地域の方たち、協賛してくださる地域の企業に支えられ、今年も元気を出して一日を楽しみましょう。

武田 寿子

4月第1例会報告

杉谷和代ワイズの司会、武田壽子会長の開会点鐘で第一例会が開催された。

例会の出席は 27 人(メンバー 18 人、ゲスト 9 人)

ワイズソングの斉唱、
鯖尻佳子
ワイズの聖書朗読、
石田由美子
ワイズの



祈禱会食と進み、7 時 20 分頃から今日のゲストスピーカーの谷川寛氏による「中東パレスチナ最近事情」と題したスピーチが始まった。

ご持参の USB がパソコンと合わず、パワーポイントでのご説明を聞けなかったのは残念でしたが、ゲストとして参加して下さった正木美保氏の助っ人により、地図や写真は一部映し出すことができ、それを見ながら元国際議員、元アジア太平洋 YMCA 同盟の会長として過去 4 回にわたりパレスチナを訪問されたご体験を通して説明して下さった。



戦後各地に散らばっ

ていたユダヤ民族の人々が 1948 年に国連によりイスラエル国家を承認された地に帰国。分断された地域に昔から住んでいたパレスチナ人とユダヤ人。民族の違いとともに 3 つの宗教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の聖地エルサレム。帰還したユダヤ民族の地域はハイテク化により、砂漠が住みやすい街に変貌、そして雇用率も 100%。一方、パレスチナ側は取り残され、失業率も 20%と貧困状態にあるとのこと。日本 YMCA 同盟は紛争の続く地域に平和を願いパレスチナ・イスラエルでの YMCA の活動を支援しているとのこと。それはオリーブの植樹、パレスチナの若者達の職業訓練などだが、時代とともにその支援の方法を考えて行く必要があるとのこと。

キリスト教徒にとって、エルサレムは聖地、一度は巡礼の旅をしたい場所であるが、紛争の絶えない地域に手の届かない場所。

宗教的、民族的と複雑な地域のご説明はなかなか理解するのが困難だったが、やはり一人一人が個々に向き合い理解して行くことによってたとえ小さくても平和へと繋がって行くことを願って活動している YMCA の使命を感じることができた。

3 月 4 月のお誕生日祝いをして、武田壽子会長の閉会点鐘で例会は終了した。

多胡 葉子

4月第2例会報告

4月第2例会は、4月 18 日(水)18 時 30 分から宝塚市西公民館で行われ、武田会長、青柳、石田、多胡、小林、堀江、長尾、吉田、今田、谷川、若林各メンが出席し、バザー準備のため西宮 YMCA 職員の太田、リーダーの大塚、玉垣、大下さんが参加した。

議事要旨:

1. バザーについて(青柳)

5 月 19 日開催のバザーの運営に関し確認した。

- ・FM 宝塚 5/14 放送に青柳、リーダー2 名が出演
- ・協賛企業へ賞品等の依頼と寄贈品の収集
- ・5/17~19 の役割分担の確認

2. 5 月例会

既報のとおりスピーカーに内藤徹男氏を招き、「美しい関西学院キャンパスを探訪」と題してヴォーリスを継いだ 40 年間のトータルデザインを聞く。

3. キラリと輝くアート展(多胡)

4/28 神戸ポートクラブ周年例会に合わせ、「キラリと輝くアート展」、臨床美術の講演を行う。作品の運搬・展示の手伝いの協力をよろしく。

4. 西日本区大会の準備状況(石田)

参加目標 800 人を目指し登録状況の推移を注視している。大会中に鹿児島クラブとの DBC 締結式を行う。当初、岩国クラブを含めたトライアングル締結を期待していたが、これは断念する。

5. その他

- ・吉田メンより 30 周年事業の会計報告があり、了承した。
- ・国際選挙の結果が報告された。
- ・5/12 西宮クラブ 70 周年記念例会に 8 名が出席予定。

6. ブリテン(長尾)

5 月ブリテンの編集方針、役割分担、日程等の説明があった。

書記 若林成幸

キラリと輝くアート展

第 4 回目のキラリと輝くアート展が 4 月の 28 日に神戸 YMCA を会場に開催された。六甲部の CS 事業の一つである。



障がいのある人たちのアート展は、毎回その素晴らしさに感動を覚える。

宝塚からははんしん自立の家の入居者の方々、アズイトとさざんか福祉会から約 40 点以上の



作品が出展、展示された。また、芦屋、神戸ポート、さんだクラブなどが支援している施設からも 3 教室一杯に絵画、お習字、貼り絵、織物などが展示され、10 時から 16 時の期間に約 200 人の方々が見に来て下さった。



一つ一つの作品はどれも物語があり、その色彩、構造などとても素晴らしい作品ばかりである。

CS 担当 多胡 葉子

プロフィール

大阪市立大学大学院修了後、日本初の超高層霞ヶ関ビルの検討チームに入る。超高層ホテルから古民家再生に至る幅広い設計。

このほど長年に亘る関西学院キャンパス再整備

備の業績により、日本建築学会賞を受賞。

(株)日本設計元代表。



神戸学園都市クラブ訪問記

4月19日(木)西神戸YMCAにて午後7時より神戸学園都市クラブの例会で「いけばなのお話」と実技をさせて頂きました。

私は30年ほど池坊いけばなを学んでまいりましたが池坊のいけばなの歴史や理念などをお話させて頂いた後で「立花」という形のお花を生けました。もともと立花は祈りのお花といわれている花形です。仏前に供えられたことから始まったようです。

一番池坊らしいお花だといってもいいかもしれません。一つ一つ役枝に名前があり曲げる角度も決まっています。生けあがったお花を見ることはあっても生けあがっていく



工程を見ることはあまりないかもしれません。私は人前でこのように生けることは初体験でドキドキしていましたが、皆さんが温かい眼差しで見て下さって励まされました。例会後はみんなで会食して素敵な時間を過ごさせて頂きました。とてもいい経験をさせて頂き神戸学園都市クラブの皆様に感謝の気持ちいっぱいです。

鯖尻佳子

【今月のみ言葉】

「人間とは何か？」——古来人間はこの問いを持ち続け、それと共に自分という存在について問い続けてきました。皆さんもご存じのように、フランスの哲学者パスカルは、「人間は考える葦である」と語り、アウシュヴィッツでの収容生活を体験した精神科医のV. E. フランクルは、人間を「苦悩する存在」と定義しました。その他にも「知性を持つ存在」、「道具を作る存在」、「言葉を用いる存在」等、人間に関して様々な定義が提唱されてきましたが、もちろん、人間という存在が解明されたわけではありません。いずれにしても、この「人間とは何か？」という問いは、私たちにとって根源的な問いであり、決して完全な答えが見出されることのない永遠の問いであるわけです。

今月取り上げた詩編第8編には天地万物を創造した神を讃える言葉が書き連ねられていますが、ここにも「人間とは何か？」という問いが出てきます。この詩人は天を見上げて、広大な天に存在する月も星も神が創造したものであることを改めて認識します。そして、地上のあらゆる生物の中でも唯一、人間だけが偉大な創造主である神に特別に顧みられている存在であることに思い当たり、人間とは一体何者なのだと感嘆の声をあげるのです。私たちも自然界に存在する様々なものに今一度目を向けると共に創造者である神を覚え、私たち人間を特別な存在として創造され、いつも顧みてくださる神に対して常に感謝の思いを表していくことができればと思います。

嶺重 淑

YMCA だより



桜の開花が早ければ、暖かさを通り越し暑さを感じる少し気早な 4 月でした。保育園ではそれぞれの園で新入園児を迎え、子どもも大人も互いにドキドキのときですが、これもまた例年より早く落ち着いているような…。何もかもあつという間に感じる 4 月でしたが、5 月からはじっくりとかかわりを、つながりをつくることとなればと感じています。5 月の YMCA ニュース、報告します。

1. 「みんながつながる」YMCAデー感謝！

中日本のYMCAが企画した「みんながつながる」YMCAデー、ワイズの皆様の多くの協力いただき神戸YMCAからは200名を超える参加をいただき、4月14日の甲子園は思い出深い一日となりました。×天候…昼過ぎまでは晴れていたのに曇りから5回を超えるころには雨！ ×試合結果…ヤクルトファンの方には申し訳ないですが、タイガースは1点も取れず(特に4番バッターには腹立ちすら覚えたのでは)盛り上がるポイントを見出すことすら難しい試合展開！ ◎それでもYMCAに連なる皆さんは笑顔でYMCAグッズを身にまとって応援！雨が降りしきる中9回まであきらめず応援の声を上げてくれた卒園児の姿に感動し雨に交じって涙涙の感謝でした！！

皆さんの支えに感謝と、今年のタイガースの歩みに祈りをもって、報告をさせていただきます。

2. 神戸 YMCA 創立 132 周年記念日礼拝

この5月8日で神戸YMCAは創立132年目を迎えます。遠い昔の使命に燃えた若者の熱き思いに触れ、また新たな時代の使命を確認しようと今年はYMCAの幼稚園チャプレンを担っていただいている日本聖公会神戸教区の前主教であり、松蔭女子学院理事長としてお務めの中村豊先生にメッセージをいただきます。どなたでも自由にご参加いただけます。まだ新たな会館を見られたことのない方、ぜひこの機会にお越しください。

日時:5月8日(火)18:30-20:00

場所:神戸YMCA 三宮会館チャペル

メッセージ:「港町神戸とYMCAの使命」

中村豊先生(松蔭女子学院理事長)

3. ユースリーダー委嘱式支援感謝

大学生が中心となっている神戸YMCAのリーダーは年度が替わるごとに入れ替わりも多く、また特にこの年度始まりのころは、各リーダー会でも研修や新たなチーム作りを行っています。

神戸YMCA全体でも、学びの時を持ち、YMCAの使命に立ち返り、何ができるか、そのために何が必要かを考える時を持ちます。この会のご支援を六甲部各ワイズに支援をいただいていることに感謝し、またよければリーダーの新たな出発を祈る委嘱式にご参加いただければと思います。

日時:5月13日(日)16:15-17:00

場所:神戸YMCA 三宮会館

(委嘱式に先立ち朝よりリーダー研修を行っています)

4.YMCA会費納入のお願い

ワイズの皆様は、西日本区定款第3条の2項にあるように、YMCAの会員になっていただくこととなっています。YMCAは年度が4月はじまりとなっています。まだ入会されていない方、新年度の更新を済まされていない方は、会費納入をお願いします。

年会費は1年間 10,000 円(維持会員)からとなっています。何卒ご協力よろしくお願いします。

第 21 回西日本区大会 実行委員会コーナー

4 月に入ると各小委員会は忙しくなってきました。



4 月 5 日(金)、プログラム委員会と会場委員会を合同で開催。プログラムに沿って会場の使用時間を確定し経費の見直しをしました。また、当日の人員配置を六甲部全クラブメンバー対象に決めて行きましたが時間切れで次回へペンディング。

4 月 16 日(月)、広報委員会、登録委員会の合同開催。登録目標 800 名に近づけるためのアピール活動をどのように進めていくか意見を出し合いました。

更に、4 月 20 日(金)、再びプログラム委員会と会場委員会の合同開催。前回からのペンディング事項である人員配置を大筋完了。宝塚クラブのパワーに期待大です。

4 月 23 日(月)、第 16 回実行委員会開催。オフィシャルエージェントの日本旅行に来て頂き登録関係、名札作成関係、エクスカーションなど討議しました。エクスカーションは申し込みが低調なため、元町南京町と神戸港めぐりコースのみになります。

もうあと1か月少々、実際には1か月を残すのみです。しっかりと足元を見つめて進めていきたいと思っています。

実行委員長 石田由美子